



県政特集 脳卒中対策

健康寸劇  
ストップ・ザ・  
脳卒中

健康づくり寸劇の中のお風呂のひとつ。『体にやさしい入浴法』を題材にして、脳卒中の予防を呼びかけました  
～岩舟町健康福祉センター「遊楽々館」～

とちぎ  
**県民だより**  
6  
2004  
月号  
編集・発行 栃木県広報課  
平成16年6月15日発行

〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20  
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160  
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 [5月1日現在]  
2,012,585人(前月比+2,955人、前年同月比+3,373人)  
◎男998,729人 ◎女1,013,856人 ◎世帯数703,365世帯  
栃木県毎月人口推計速報

## 脳卒中には 日ごろの予防と 早めの治療を

栃木県の脳卒中による年齢調整死亡率は、四年前に全国ワーストワンから脱したものの、依然として高い状況にあります。県では、予防・医療・リハビリテーションの面から脳卒中対策を総合的にすすめています。

### 地域で楽しく 呼びかけます

県では、県内五カ所を脳卒中対策のモデル地区に指定し、それぞれの地域の実情にあわせて対策を行っています。モデル地区のひとつである岩舟町では「ストップ・ザ・脳卒中事業」を実施。初期症状の講習会や脳卒中の危険度が高い方への個別指導など、地域ぐるみでさまざまな事業に取り組んでいます。

この日は、町の「けんこう普及員」が中心となり、脳卒中予防を寸劇で紹介しました。けんこう普及員とは、町の保健研修を受講したボランティアグループの皆さん。「地域の方と一緒に健康づくりを楽しむ」をモットーに自治会の催しなどで活動しています。

「来てくれた方が熱心に見てくれたので良かった」と話すのは会長の大出さん。「劇を見る人もやる人も、楽しみながら脳卒中の予防を呼びかけ合うことができればいいですね。今日は入浴法がテーマでしたが、食事編や運動編と続けてやっていきたい」とその意欲を話します。けんこう普及員の新たな予防活動が、地域に広がっていきます。

### 栃木県脳卒中関連情報提供システム

この情報提供システムは、本県における総合的な脳卒中対策の一環として行うもので、適切な医療機関の紹介、生活習慣病の予防、介護サービスの提供など、脳卒中に関心のある方々に役立つ情報を提供します。

検索する情報は、予防や医療、リハビリテーションなどの分野で、各機関の得意分野や得意サービスなどを中心に検索することができます。最新の医療情報や最新のサービスについても、お問い合わせください。

検索  
栃木県脳卒中  
栃木県健康福祉センター  
栃木県健康福祉センター  
栃木県健康福祉センター

(<http://www.tochigi-med.or.jp/~nousottyuu/>)からアクセス

### 脳卒中対策の 支援システムづくり

県では、地域の核となり脳卒中対策に取り組んでいる医療機関を「脳卒中地域拠点医療機関」として指定しています(次ページ参照)。これらの医療機関では、専門的な診療のほか、それぞれの地域にある医療機関に対する情報提供や研修の実施、各種保健事業への協力等を行っています。

また、脳卒中対策協議会を設置し、モデル事業等の支援を行うほか、「栃木県脳卒中関連情報提供システム」で脳卒中関連のさまざまな情報をいつでも提供しています。ぜひ、ご覧ください。

### とちぎ難病相談支援センター を開設しました

地域で生活する難病患者とその家族の皆さんの日常生活の悩みや不安などの相談に応じています。また、地域交流活動や就労支援も行います。お気軽にご相談ください

- 場 所 宇都宮市駒生町3337-1  
とちぎリハビリテーションセンター内
- 相談時間 午前10時～正午、午後1時～4時  
月～金曜日
- 電話相談 ☎ 028-623-6113  
FAX 028-623-7255
- 医療相談 専門医により毎月  
2回実施予定(要予約)  
6/22(火) 内分泌系疾患の方  
7/16(金) 炎症性消化器系疾患の方  
7/30(金) 肝臓・すい臓関連疾患の方

### 覚えておきたい 脳卒中の 基礎知識

#### 脳卒中ってどんなもの？

脳の血管が破れて出血をおこすものです

#### 脳出血

脳の血管が破れて出血をおこすものです

#### くも膜下出血

脳をおおっているくも膜と脳の表面の間の血管のこぶ(動脈瘤)が破れて出血をおこすものです

#### 脳梗塞

動脈や心臓にできた血の固まりが脳の動脈に流れて血管がつまるものです

#### 脳卒中にかかりやすい人はどんな人？

- ・血圧が高い
- ・タバコを吸っている
- ・お酒をたくさん飲む
- ・肥満がある
- ・糖尿病がある
- ・不整脈がある

#### 脳卒中などの健康相談 をしたい時、どこへ連絡 したらいいの？

- 東西健康福祉センター(鹿沼市)  
☎0289-164-1312
- 東健康福祉センター(真岡市)  
☎0285-182-3332
- 南健康福祉センター(小山市)  
☎0285-122-0302
- 北健康福祉センター(大田原市)  
☎0287-122-2257
- 安定健康福祉センター(足利市)  
☎0284-141-5900

(次ページへつづく)

### 目次

- 2面特集 脳卒中対策  
脳卒中かな?と思ったら  
すぐに専門の医療機関へ
- 3面ミニ特集 平成青年建白書  
初めての平成青年建白書  
をまとめました
- ふるさと散歩  
みんながとちぎの環境  
を学ぼう!編
- 4面情報 栃木県からのお知らせ  
●文化情報・募集・案内 ほか  
花歳時記(ユキノシタ)

# 脳卒中かな?と思つたら すぐに専門の医療機関へ

県では、脳卒中が発症した時に、患者の方を速やかに専門の医療機関へ搬送する体制の整備をすすめています。

## 脳卒中は早期受診が 大切です

脳卒中はならないよう予防することがいちばんですが、万が一、脳卒中と疑われる症状があつたら、なるべく早く医療機関で受診することが大切です。三時間以内に治療を開始することで、その後の治療成績が良好になると言われているからです。

## 救急救命士等がすぐに 専門医療機関に搬送

県では、県内十九カ所の脳卒中の専門医療機関を選定しました(左の表参照)。今年七月から、脳卒中が疑われる救急患者の方を、速やかにこれらの医療機関へ搬送することとしています。

そのためには、下記にあるような脳卒中の初期症状を十分に理解し、その症状があらわれたら、速やかに医療機関で受診してください。

脳卒中専門医療機関には、専任の神経内科専門医または脳神経外科専門医が常勤で勤務。また、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士等が配置されるなど、早い段階からリハビリテーションを開始できる体制に

## 脳卒中専門医療機関

医療圏	医療機関名	市町村	連絡先	拠点医療機関
県北	大田原赤十字病院	大田原市	0287-23-1122	○
	那須脳神経外科病院	黒磯市	0287-62-5500	
	国際医療福祉病院	西那須野町	0287-37-2221	
	塩谷総合病院	矢板市	0287-44-1155	
県西	上都賀総合病院	鹿沼市	0289-64-2161	○
	池田脳神経外科	鹿沼市	0289-63-1333	
県東・央	済生会宇都宮病院	宇都宮市	028-626-5500	○
	宇都宮社会保険病院	宇都宮市	028-653-1001	
	NHO栃木病院 (旧国立栃木病院)	宇都宮市	028-622-5241	
県南	藤井脳神経外科病院	河内町	028-673-6211	○
	芳賀赤十字病院	真岡市	0285-82-2195	○
	自治医科大学附属病院	南河内町	0285-44-2111	○
	那須南病院	烏山町	0287-84-3911	
両毛	下都賀総合病院	栃木市	0282-22-2551	○
	とちの木病院	栃木市	0282-22-7722	
	小山市市民病院	小山市	0285-21-3800	
両毛	獨協医科大学病院	壬生町	0282-86-1111	○
	足利赤十字病院	足利市	0284-21-0121	○
	佐野厚生総合病院	佐野市	0283-22-5222	○

県では、県民の皆さんが健康に安心して生活できるよう、脳卒中の予防・医療・リハビリテーションの面から、さまざまな脳卒中対策をすすめています。県民の皆さん一人ひとりが脳卒中予防のための知識を持ち、普段の生活の中で注意していただくこと、初期症状が出た

## 考えてみよう 脳卒中のこころ

脳卒中専門医療機関と救急救命士等が連携し、少しでも早く適切な医療サービスが提供できるよう、脳卒中早期治療体制の整備をすすめています。



なっています。院内は、脳卒中に係る救急医療施設として必要な診療部門、優先病室、医療機器等が整備されており、緊急の患者の方を受け入れる体制が整っています。

さらに、県では、救急救命士等が迅速・的確に脳卒中の患者の方に対応できるよう、救急搬送のためのマニュアルを作成しました。これは、県民の皆さんが救急車を呼んだ際、脳卒中の疑いがあるかどうかの判断や救急処置、搬送先医療機関の選定など、脳卒中の救急搬送体制について定めたものです。

問合せ  
県健康増進課  
TEL 028-623-3094  
県医事厚生課  
TEL 028-623-3157



## 脳卒中を見のがさないために覚えておこう!

脳卒中の発作では、意識を失うことがあります。また、脳卒中の初期には次のような症状も多くみられます。

### 初期症状

- 片方の手や足がしびれたり、感覚がにぶい
- めまいがしたり、ふらふらして歩きにくい
- 手や足に力が入らない
- 箸や茶碗を落とす
- 言葉がうまく出せない
- 相手の話す言葉が理解できない・ろれつが回らない
- 食べ物や飲み物がうまく飲み込めない
- 片眼が見えにくい
- 激しい頭痛がする
- 表情がゆがむ



大事にいたらないように、夜間の場合も朝まで待たず、すぐに受診してください

### 具体的には

- かかりつけの医師がいる場合には、すぐ連絡をとり、その指示に従い救急車を呼びます。
- かかりつけの医師がいない場合には、最寄りの脳卒中専門医療機関に相談してください。
- トイレや浴室で倒れた場合は、救急車が到着するまで、体を拭くなどして体が冷えないように。また、呼吸しやすい体位を取り、首と体を横向きに(動かない手足を上)に)
- 脳卒中の状態が落ち着いても、目を離さずに、救急隊などの助けを呼んでください。

## 栃木県脳卒中対策協議会の土谷会長に脳卒中対策についてお聞きしました



栃木県脳卒中対策協議会  
会長 土谷 博之さん

この協議会では、本県の脳卒中死亡率を改善するために、これまでの予防対策に加え、早期治療体制の整備を含めた総合的な対策を検討してきました。その中で、脳卒中の救急患者を受け入れる専門医療機関の選定や、地域での情報発信基地となる拠点医療機関の指定などを行い、さらに各地域ごとの課題に対応できる関係機関のネットワークづくりにも取り組んでいます。

県民の皆さんには、ぜひ、脳卒中にならないための予防はもとより、万一の対策として初期症状を理解し、早期受診を心がけていただくようお願いいたします。

## あなたの命を救いたい

### 活躍する救急救命士

県内には、一、二、三二人の救急救命士が活躍しています。平成十四年の救急出動件数は、五、六、九八四件。このうち、急病と交通事象に関わるものが73%。九分十三秒に一回の割合で、救急車は出動しています。

救急隊の出動件数や搬送人員は、年々増加しており、私たちの生活に重要な役割を果たしています。県民の皆さんの生命や身体を守るために、救急救命士は、日々救急業務に励んでいます。

### 気管挿管の病院実習にご理解とご協力を

一般の救急救命士が行う応急処置などに加えて、心肺停止状態

態の傷病者の方に対して、除細動(電気ショック)などの高度な救急救命処置を行っているのが、救急救命士です。

現在、県内では、二〇九人の救急救命士が、救急現場や搬送途中における応急処置をしています。

また、七月から、特別の講習と病院での実習を修了した救急救命士が、医師の具体的な指示のもと、救急現場などで、口から気管にチューブを挿入し、肺に直接酸素を送り込む気管挿管を行うことができるようになります。



◇問合せ  
県消防防災課 TEL 028-623-2131 / 県医事厚生課 TEL 028-623-3146

ふるさと散歩  
みんなでとちぎの環境  
を学ぼう！編

～6月は環境月間です～

風と光の広場

足利工業大学総合研究センター内  
足利市大前町268-1

- 足利工業大学総合研究センター内にあります。たくさんのユニークな形の小型風車が、目印です
  - 太陽光と風力発電機、自然観察のピオトープと、間伐材を利用した緑陰教室などで構成されています
  - 敷地内の「ミニミニ博物館」では、風車についての模型や資料、太陽光のエネルギーを直接利用して調理を行うソーラーキッチンが展示されています※「ミニミニ博物館」の開館は、火・木・土曜日の午前10時～午後3時です
  - 地球環境にやさしい、新しいエネルギーについて、体験してみましょう
  - 入場無料
- アクセス**  
JR両毛線山前駅下車、大学直行バス乗車  
問合せ ☎0284-62-0782



足尾環境学習センター

足尾町 銅親水公園内

- 日本のグランドキャニオンと呼ばれる松木溪谷の入口、銅親水公園内にあります
  - 映像や資料などで、足尾銅山の歴史を紹介しています
  - 足尾町では、毎年さまざまな団体が緑化活動を行っています。過去の公害問題と自然の大切さを学びましょう
  - 入館料 大人 200円、高校生以下 100円、未就学児は無料
  - 開館時間 4月1日～11月30日  
午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- アクセス**  
わたらせ渓谷鉄道間藤駅から約3km  
問合せ 足尾町産業観光課 ☎0288-93-3111



宇都宮市環境学習センター  
～環境未来館～

クリーンパーク茂原リサイクルプラザ内  
宇都宮市茂原町777-1

- 環境問題について、わかりやすい映像や展示、講座などで、楽しみながら学習できる施設です
  - 環境について知り、問題点を考え、そして具体的に行動することで、私たちの生活から出るごみの問題と環境を守っていくことについて考えてみませんか
  - 併設の焼却ごみ処理施設の見学は、事前に予約してください
  - 入場無料
  - 開館時間 午前9時～午後5時
  - 休館日 月曜日と12/29～1/3
- アクセス**  
JR宇都宮駅から関東バス「石橋・自治医大行き」に乗車し、「茂原観音入り口」下車、徒歩約15分  
問合せ ☎028-655-6030
- 宇都宮市環境学習センターの隣には、宇都宮市茂原健康交流センター「緑寿コ・デ・ランネ」があります
  - 浴槽やプールは、ごみを燃やした時に出るエネルギーを利用しています
  - 開館時間 午前10時～午後9時※最終受付は午後8時
  - 休館日 月曜日と12/29～1/3
  - 問合せ ☎028-654-2815



(左から)元木さん、鈴木さん、田辺さん

「国際医療福祉大学バリアフリー研究会」の皆さんは、障害

**自分たちの意見を「建白書」にまとめて**

がある方などが、積極的に外出できる地域づくりを目指して活動しています。「建白書」の募集は、大学の先生からの紹介で知りました。県に対して、自分たちの意見を言えることはあまりないので、建白書づくりは、よい機会でした」と話すのは、大学生の皆さん。

観光地のバリアフリーで社会参加を

三十六名のこのグループでは、県北七市町村の観光施設のバリアフリー状況を調べて、調査地のバリア(障壁)の情報がわかる「バリアマップ」を作成しました。そして、バリアの改

善策を研究して、障害がある方や高齢者など誰もが安心して外出できるための、さまざまな施策を提言しました。

作成リーダーの鈴木さんは「みんなで一生懸命つくった建白書を、少しでも施策に反映してもらえればと思います。障害がある方などが、観光地をはじめいろいろな場所への外出を通じて、社会参加する自信と意欲を持てるように、これからも活動を続けていきたい」と話します。

※この提言は、「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会で発表します。

◇問合せ 県女性青少年課

**「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会のお知らせ**

- 「とちぎ心のルネッサンス」運動は、県民が心一つにして、心豊かでたくましい青少年を育てようとする取り組みです
- 平成16年7月1日(木)午後0時30分～3時30分
- 栃木県総合文化センター
- 内容 記念講演「清水國明の背中子育て法」清水國明さん  
平成15年度「平成青年建白書」の発表 など
- 問合せ とちぎ青少年こども財団 ☎028-621-1611

TEL 028-8162313076

あなたも「平成青年建白書」にチャレンジしませんか

- **応募資格**  
概ね18歳から39歳までの方で、県内在住・通勤・通学する個人またはグループ
  - **助成内容**  
調査研究活動に必要な費用として、1グループあたり100万円を限度に助成します
  - **応募方法**  
所定の応募用紙に必要事項を記入し、7月30日(金)までに持参・郵送・FAX・Eメールでご応募ください
  - **あて先・問合せ**  
〒320-8501 県女性青少年課  
☎028-623-3076 FAX028-623-3150  
e josei@pref.tochigi.jp
- スケジュール**
- 調査研究活動プランの提出 (締切7月30日)
  - ※審査
  - 助成対象青年グループの決定 (9月)
  - 調査研究活動スタート (10月)
  - 「平成青年建白書」の提出 (平成17年3月中旬)



今後、日光市(6/19)、喜連川町(7/3)、栃木市(8/7)、野木町(9/4)で開催する予定です



リレー形式で土のうを運ぶ、宇都宮市立清原中学校「水防ジュニア」の皆さん



当日は、「県民一丸となって「とちぎ」に活力を！」をスローガンに、約1,100名が参加しました

**Topics 1** ふるさとづくりフォーラムを開催

五月十五日、今年度第一回目の「とちぎふるさとづくりフォーラム」が河内町で開催されました。これは、県民の皆さんと知事が県政の課題について直接意見交換を行うものです。当日は、百五十六人の参加があり、障害者の外出支援などの福祉問題や、公共交通網の整備などさまざまな問題について、熱心に意見が交わされました。

**Topics 2** 第五十三回利根川水系連合水防演習

五月二十二日、宇都宮市の鬼怒川河川敷で国土交通省と関東六県、宇都宮市主催の水防演習が実施されました。これは、私たちの暮らしを洪水から守るために「水防団」が行う訓練です。今回は、初めての試みとして中学生を対象とした「水防ジュニア」と、「女性水防隊」が訓練に参加しました。

**Topics 3** 栃木県緊急経済活性化県民会議 県民大会

五月二十四日、「栃木県緊急経済活性化県民会議県民大会」が開催されました。これは、県民の皆さんと一丸となって、元気なとちぎづくりを進めるための大会です。地域経済を復活、新生させるために、県民が一致協力して「地元購買・地元発注」運動を全面的に展開することや、一社でも多くの企業を確実に再生させるために、各支援機関が県内企業の再生を円滑かつ強力に推進することなど、県内経済活性化につながる四つの決議案が、満場一致で採択されました。

県政トピックス



ユキノシタ(ユキノシタ科)

小さな花に顔を近づけ、じっくり観察してください。上品に化粧した貴婦人が浮かび上がります。日光二社一寺境内の石垣に群生しているほか、民家の庭先でもよく見られます。

ウォッチングポイント

半陰性の植物なので、薄暗くコケの生えるような湿った場所にみられます。花の時期は7月上旬まで。



日光自然博物館の催し

- 親子で夏の冒険〜森だ!滝だ!湖だ!
子どもは大人に、大人は子どもに!
日光の昼も夜も遊びつくしちゃおう!
8/7(土)〜8(日)1泊2日
対象 子どもとその保護者(小4以上)
定員 20名
参加費 大人 8,000円ほか
申込締切 7月18日(日)
日光自然博物館 ☎0288-55-0880

山の子・海の子交流キャンプ

- 茨城のお友達と一緒に地引き網体験や砂浜ハイキングなどを楽しもう
8/1(日)〜3(火)2泊3日
対象 小4〜6年
定員 150名
参加費 10,300円
申込締切 7月7日(水)
とちぎ海浜自然の家(茨城県旭村) ☎0291-37-4004

自然公園大会サブ会場の催し

- 【県民の森会場・7/17(土)】
森のウォークラリー
森を歩きながら、クイズやゲーム、林業体験やクラフト作りを楽しもう。記念植樹もできます
定員 先着50名(4名程度のグループで申込みを)
参加無料
県民の森管理事務所 ☎0287-43-0479
【南那須四季の森会場・7/18(日)〜19(月)1泊2日】
虫の探さく 親子のつどい
昆虫採集や標本づくりにチャレンジ
定員 先着100名
参加費 大人 2,500円ほか
南那須少年自然の家 ☎0287-88-9341
【八溝会場・7/21(水)〜22(木)1泊2日】
八溝の歴史探訪とそば打・陶芸体験
定員 先着50名
参加費 12,000円
八溝県立自然公園連絡協議会 ☎0287-54-1117

ご相談ください、赤ちゃんのこと

乳幼児の育児、しつけ、医療などの悩みや不安に保健師や看護師などがお答えしています。メールでの相談も始めました



济生会宇都宮乳児院内 ☎028-623-4152
月〜土曜 午前10時〜午後5時
足利赤十字病院内 ☎0284-22-1152
月〜金曜 午前10時〜午後4時
第1・3・5土曜 午前10時〜午後1時

文化情報 子ども総合科学館

宇都宮市西川町567 ☎028-659-5555 月・第4木曜
●一般向けプラネタリウム新番組「星に導かれた探検家たち(エクスプローラーズ)」
●ミニ工作室「笛を作ってあそぼう」
●おりがみであそぼう「ワンワンひこうき」

文化情報 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566 月曜日
●常設展
テーマ展示「幻想と抽象」
●7月11日(日)まで
●20世紀の前衛美術において幻想と抽象は2つの大きな潮流です。



「Matsu」 浅見貴子 2002年

文化情報 県立博物館

宇都宮市陸町2-2 ☎028-634-1312 月曜日
●体験学習「七夕飾りを作ろう」
●7月4日(日)午前11時〜正午
●対象 小学生
●「ボタニカルアートを描いてみよう」
●3回連続講座
●7月10日・17日・24日

文化情報 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010
●小劇場シリーズ「狐狸狐狸ばなし」
●6月25日(金)午後7時開演
●出演/ラサール石井ほか
●好評発売中
●二代目中村魁春襲名披露 松竹大歌舞伎公演



松竹大歌舞伎

栃木県のお知らせ

身障者用駐車場 身障者用トイレ

募集

新しい総合計画へご意見をお寄せください

●県の新しい総合計画(計画期間:平成18〜22年)を策定していくにあたり、県民の皆さんの夢や希望がより多く反映されるようご意見を募集します。
●意見募集
●氏名・性別・職業・お住まいの市町村を記入し、ご意見をお寄せください。
●委員募集
●募集人員 5名以内
●応募資格 県内在住で満20歳以上の方

塩那道路の建設中止についてご意見をお寄せください

●塩原温泉と板室温泉とを結ぶ塩那道路の中間部(約36km)について、社会・経済情勢の変化等を踏まえて、今回、建設を中止することとした「塩那道路に係る基本方針(案)」を作成しました。
●皆さんのご意見をお寄せください。
●基本方針(案)は県ホームページ、情報公開相談室、県民センター等でご覧になれます。
●ご意見は7月15日(木)までに郵送・FAX・Eメールで

「子育てにやさしい事業所」を募集中

●育児休業制度や事業所内保育所を設けるなど子育てを積極的に応援している事業所を推薦してください。
●推薦方法 7月30日(金)までに所定の用紙で(自薦・他薦を問いません)
●とちぎ青少年子ども財団 ☎028-621-1611

献血PRマスコットキャラクターを募集します

●献血をイメージしたマスコットキャラクターを描いて応募してください。
●対象 県内に在住・通学している高校生
●応募方法 9月10日(金)までに郵送・持参
●詳細は問合せを

県シルバー大学校第26期生募集

●対象 県内在住の60歳以上の方
●学習期間 平成16年10月〜平成18年9月
●申込み 6月30日(水)まで
●今年度から学習体系が変わります
●前回参加されなかった方を対象に、6月21日(中央校)・23日(南校)・24日(北校)で学校説明会を実施します。

障害のある方のための「バスで行くウォーキング」参加者募集

●群馬県赤城自然公園の森の中2kmをゆっくり歩きましょう。
●対象 身体障害者でひとり歩きのできる方
●7月10日(土)午前7時とちぎ福祉プラザ出発
●定員 先着40名
●申込みは電話・FAXで

高齢者向け優良賃貸住宅建設事業者の募集

●高齢者に配慮した良質な賃貸住宅の建設を行う事業者を募集します。
●募集期間 6月21日(月)〜7月23日(金)
●県住宅課 ☎028-623-2483

「本を通した心のふれあい」体験談募集

●学校や地域、家庭で読書活動を通じて人と人との心のふれあいが生まれた体験談をお寄せください。
●募集締切 9月17日(金)
●詳細は問合せを
●県総合教育センター ☎028-665-7204

特区・地域再生の提案を募集中

●国の様々な規制が経済活動の妨げになっていませんか。
●国では規制改革・地域再生の提案を募集しています。
●募集締切 6月30日(水)
●詳細は構造改革特区推進本部ホームページでご覧になれます
●県企画調整課 ☎028-623-2209

試験・講座

職業訓練指導員(資格取得)試験
●試験日 8月20日(金)
●とちぎ男女共同参画センター(宇都宮市)
●願書受付 6月21日(月)〜7月2日(金)
●受験手数料 3,100円
●県職業訓練指導員の採用試験ではありません
●県職業能力開発課 ☎028-623-3237

なんじゃもんじゃ探検隊

●県立文書館内を探検しながら古い文書にふれてみませんか。
●7月27日、8月4・11・24日午前9時〜午後4時
●対象 小学5・6年生
●定員 各回15名
●申込み 各回前日までに電話で申込みを

高齢者の就業のための講習会

●対象 60歳代前半の求職者
●受講無料※テキスト代は受講者負担
●定員 各20名
●パソコン(文書作成)実務講習 7月26日(月)〜30日(金)
●パソコン(表計算)実務講習 7月5日(月)〜16日(金)
●警備業務技能講習 7月21日(水)〜29日(木)

農業大学校で研修を実施しています

●農業を営んでいる方や新たに農業を始めようとする方、一般の方を対象に短期の研修を実施しています。
●種類 営農技術研修・新規就農希望者研修・消費者研修など
●詳細は問合せを

案内

特定不妊治療費の一部を助成します

●平成16年4月1日以降開始した特定不妊治療(体外受精・顕微授精)経費の一部を助成します。
●一年度あたりの上限額は10万円です(通算2年まで)
●所得制限や指定医療機関がありますので詳細は問合せを
●県児童家庭課 ☎028-623-3064

パソコンボランティア(障害者支援)を派遣します

●手足や視覚に障害がある方のためのパソコンソフトの操作などを支援する「パソコンボランティア」を派遣しています。
●派遣回数 年5回程度
●とちぎアイ・ティ普及協会 ☎028-643-1990

ハンセン病募金活動にご協力を!

●6月20日(日)から26日(土)までは「ハンセン病を正しく理解する週間」です。
●ハンセン病募金活動を行っていますので、ご協力をお願いします。
●県健康増進課 ☎028-623-3086

農業による事故を防止しましょう

●農業はラベルをよく読んで正しく使い、保管庫に鍵をかけて保管しましょう

とちぎ・旬の情報をお届けします!

●メールマガジンでとちぎの旬の情報をお届けします。
●県政あれこれ・お祭り情報・花情報など
●県ホームページで21日から申込受付します。
●ぜひアクセスしてください。
●県広報課 ☎028-623-2164



information とちぎテレビ 県の広報番組

クローズアップとちぎ
●毎週日曜 9:00〜9:30
●(再)月曜 22:00〜22:30
●6月20日 薬物乱用をなくそう
●27日 栃木県環境保全計画
●7月4日 とちぎの清らかな水を守るために〜生活排水処理構想〜
●11日 交番相談員制度

とちぎのオンライン
●毎週月曜 「イブニング6」内 18:20〜18:25頃
●7月5日 ビール麦
●12日 磯ユウキャン

なるほど!とちぎ
●毎週土曜 9:00〜9:30
●(再)日曜 20:00〜20:30
●6月19日 知っていますか?選挙のはなし〜選挙に行こう〜
●26日 水防〜堤防を、まちを守れ!〜
●7月3日 山・川の事故防止
●10日 ブランド農産物

県政ひとくちメモ
●毎週木曜 「イブニング6」内 18:20〜18:25頃
●6月17日 とちぎの食材提供店
●24日 こどもエコ探検隊
●7月1日 公共交通利用の促進
●8日 愛の献血助け合い運動

とちぎ教育新事情
●毎週土曜 17:30〜17:50
●(再)月曜 12:05〜12:25
●6月19日 手をつなぐ学校、家庭、地域〜開かれた児童・生徒指導〜
●26日 教育NOW!
●7月3日 教えて、学んで、キャリアアップ!
●10日 ジュニア・キャリアアドバイザー訪ねてみよう とちぎの文化財〜黒羽町編〜